

よしながだより

vol.11

冬は猫の膀胱炎の季節!?

毎年冬になると、膀胱炎で来院される猫ちゃんが多くなります。猫の膀胱炎の原因は、細菌感染の他、一番多いのが『膀胱結石』です。昔砂漠に生息していた猫は、水を飲む量が少なくても生きられるように、濃いおしっこをつくりまします。おしっこが濃いと、尿中のミネラル(結石の材料)が結晶化しやすく、結石ができてやすくなるのです。

このため、猫はもともと結石ができてやすい動物なのですが、寒くなり、水を飲む量が減るとさらにおしっこが濃くなり、ますます結石ができてやすくなってしまふのです。

膀胱炎の症状

- 頻繁にトイレに行く
- 長い間トイレで座っている
- トイレ以外の場所で排泄してしまう
- おしっこに血が混じっている
- おしっこが少しずつしか出ない
- トイレで痛そうに鳴く



!!緊急!!

これらと似た症状で(頻繁にトイレに行き、長い間座っている)、膀胱結石が尿道に詰まり、おしっこが出ていない場合があります。おしっこが出ないと尿毒症になり具合が悪くなりますが、これは危険な状態で、命にもかかわることがあります。他に次のような症状がみられたら、すぐに来院してください。

- おしっこがまったく出ていない
- 食欲がない
- 元気がない
- 吐く



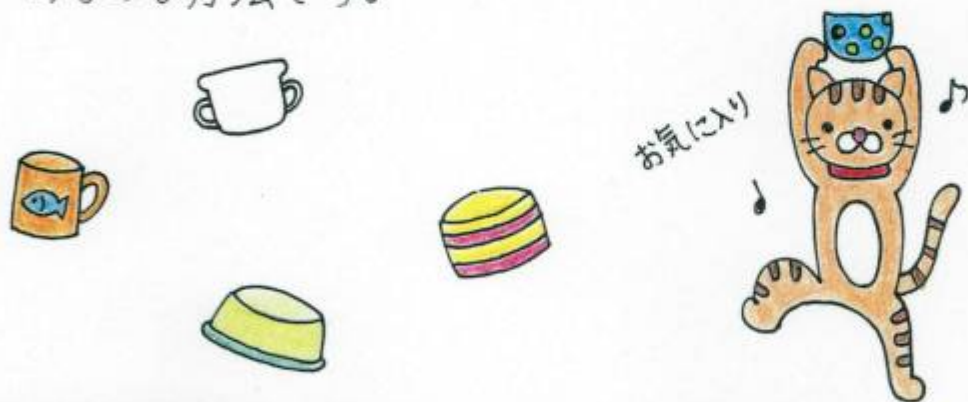
この他に、細菌感染や膀胱結石がなくとも起こる、『**特発性膀胱炎**』もあります。はっきりとした原因はわかりませんが、**ストレス**も関係すると考えられています。

膀胱炎の予防

① 水をなるべくたくさん飲ませる

動物に水をたくさん飲ませるというのはむずかしいことですが、水の入れ物を家のあちこちに置いたり、器の種類や大きさを変えてみる、といった工夫をしてみましょう。

ドライフードをふやかしたり、ウェットフードにさらに水を加えてみるのも方法です。



② トイレを清潔にする

猫は汚れたトイレを嫌がります。おしっこを我慢させないために、トイレは常にきれいにしておきましょう。

また、多頭飼いの場合、猫と同じ数のトイレを置くのが理想です。

③ 食事を変える

ドライフードに含まれる成分が結石をつくる原因にもなるので、ウェットフード(缶詰め、レトルトタイプ)に変更してみましょう。ミネラルウォーター、ミルク、小魚なども結石の元になるミネラル成分を多く含むので、控えましょう。



④ 太らせない

太ってしまうとあまり動かなくなり、水を飲む量が少なくなります。避妊・去勢手術を受けている猫ちゃんは、ホルモンバランスの影響などで特に太りやすいので、注意が必要です。

避妊・去勢後の猫ちゃんにピッタリな、カロリー控えめの食事もあります。サンプルお渡しできますので、スタッフまでどうぞ!



⑤ ストレスをなくしてあげる

日頃から注意深く観察していても、ごく初期の症状である、排尿後の違和感などに気づいてあげることはむずかしいと思います。異変に気づく時は、ある程度症状が悪化した時なのです。おしっこが出ている場合でも、「いつもと仕方がちがうな」と思われたら、なるべく早く連れて来てください。